

一般社団法人才オールネーションズ / 相模原市まち・みどり公社 共催
第7回東日本大震災復興支援チャリティーマッチ実績報告書



Official Home Page URL:
<http://anbb2011.com/>

Official Facebook Page URL:
<https://www.facebook.com/weareballone>

ALL NATIONS（旧野球狂の会）とは？ We are (B)all one!! (ボール一つから繋がる奇跡！！) を合い言葉に集まった野球を愛するメンバーです。野球に狂うほど情熱があるのなら国籍も人種も関係ない！！ということで日本はもちろん、アメリカ、カナダ、オーストラリア、オランダ、メキシコ、ドイツ、フランス、チェコ共和国、韓国、台湾、中国などでワールドワイドに野球をプレーした経験を持つ選手たちの集まりです。

2017年11月19日、
以下の通り、第7回東日本大震災チャリティーマッチの御報告をいたします。

2011年に河川敷にて初めて行われた野球狂の会チャリティーマッチ。2011年、3月11日に東北沖にて発生した東日本大震災の被害は今も尚、大きな爪痕を残しており本当の復興までにはまだ多くの時間を要すると伺っています。そこで、私たち All Nations は、野球人が集まり、野球人だからこそできる事で恩返しすることに決めました。東北ではいまだにグラウンド確保が難しい状況や、野球道具もまだまだ不足していると現地の方から伺っています。そこで、私たち野球に関わる人間が集まり、力を合わせ、野球道具をはじめとした物資を東北に送らせて頂きたいと考えました。また、送るだけでなく、被災地で野球教室を行います。復興を実現するために、海外リーグにまで行ってプレーし、野球をこよなく愛する人間たちが立ち上りました。7回目となる今年は、協賛企業様はじめ、多くの方々のご協力を得て、チャリティーマッチを開催させて頂きました。

【当日イベント概要】

1. 開催日：2017年11月19日（日）
2. 開催場所：サーティーフォー相模原球場(神奈川県相模原市)
3. 共催：一般社団法人才オールネーションズ / 相模原市まち・みどり公社
4. 後援：相模原市教育委員会
5. 協賛 : (株) BM I、ピーエスエス(有)、(株) IB リーダーズ、紫染屋、
(株) マッシュプロダクト、みつけネット、g.k Casino Entertainment Company、
ベースボールフィールド、田名中央インパルス、Cologne Mini Club
順不同
6. 総動員数：約 500 名
7. タイムスケジュール : 別紙参照添付

出場メンバー

【監督】

- ・三好 貴士（ソノマ・ストンペーズ：米）

【コーチ】

- ・清水 広貴（中信ホエールズ：中国）
- ・萩島 賢（フェデックス）

【トレーナー】

- ・川村 博人（ニューヨーク・メッツ：米）

【投手】

- ・大島 崇仁（三重スリーアローズ）
- ・鈴木 陸（藤井高校）
- ・荻野 忠寛（千葉ロッテマリーンズ）
- ・中後 悠平（アリゾナ・ダイヤモンドバックス：米）
- ・島内 博史（トロワリビエール・セインツ：カナダ）

【捕手】

- ・植松 泰良（サンフランシスコ・ジャイアンツ：米）
- ・松下 一郎（横浜DeNAベイスターズ）
- ・本間 貴大（東京メッツ）

【内野手】

- ・肥田 貢次（群馬ダイヤモンドペガサス）
- ・安田 裕希（ソノマ・ストンペーズ：米）
- ・宮寺 匡広（ソノマ・ストンペーズ：米）
- ・根鉢 雄次（モントリオール・エクスプロズ：米）
- ・鈴木 輝（ヤーノシュショモルヤ・ラスカルズ：ハンガリー）

【外野手】

- ・藤木 雄介（ヴィエナ・ワンダラーズ：オーストリア）
- ・杉本 竜志（ジェイプロジェクト）

- ・沖田 浩之（明徳義塾高校）
- ・クーニン（野球 YouTuber）
- ・内藤 良亮（ボルティモア・オリオールズ：米）
- ・田久保 賢植（フロッシ・ブルノ：チェコ）

～主な活動内容～

① 企業、支援者の協賛

東日本大震災をきっかけに、野球人として野球を通してできることとして始めた、このチャリティーマッチの趣旨をご理解頂いた企業、支援者様から協賛金や物品提供をして頂きました。試合前には協賛・支援して頂いた企業や支援者様をアナウンスでご紹介させて頂きました。

② Web広告・告知用チラシの作成

当イベントの顔となるフライヤーを作成し、参加選手や支援者様のブログ、SNSであるFacebook等での拡散・告知を行いました。また自治体や球場、市内外の小中学校、協賛頂きました店舗等において、ポスター掲載をさせて頂きました。

③ 募金活動・チャリティーマッチ用ティーシャツの販売

チャリティーの一環として募金箱を設置し、来場者や参加者の皆様には募金の寄付をお願いしました。また、当イベント用にチャリティーTシャツを作成し、販売しました。（詳細は下記をご参照ください）

④ ファンサービス

試合終了後にグランド内でサイン会、撮影会、及び交流会を実施。

⑤ 音楽付きの選手紹介

事前にお気に入りの曲を各選手から希望を取り、打席に入る際やマウンドに上がる際に入場曲として流しました。また、イニング間やイベント最中にも音楽をかけ、球場全体をエンタテイメント性の高い空間へと作り上げました。

⑥ プロのスタジアムDJによるイベント進行

ラジオのパーソナリティーからイベントMC、プロ野球独立リーグでスタジアムDJなど幅広く活躍されている「橋本卓也」氏による英語を交えた関西弁でのアナウンス、試合進行を行っていただきました。普段味わうことのできない、海外ながらのボールパークの空気を演出し、体感していただきました。

⑦ All Nations VS 相模原クラブによるチャリティーマッチ

選抜2チームによる試合（チャリティーマッチ）を行い、日本のプロ野球だけでなく、普段絶対に見ることのできない、海外プロ野球リーグなどでプレーした選手たちの技術を披露しました。

⑧ 野球教室の開催

当日ご来場いただいた少年野球チーム、中学生を対象に野球教室を実施いたしました。① 打撃 ② 守備
③ トレーナー講習 3組に分かれ、ローテーションで実施。全てのセクションを体験する流れを組みました。
国内外プロ選手等により約2時間、熱のこもった指導を参加者たちに精一杯させていただきました。

⑨ 横断幕やのぼりで球場内演出

協賛ご協力頂いております方より、事前に出場選手の横断幕、のぼりを作成し、球場内外をアレンジしました。

⑩ 世界のユニフォーム展実施

世界各地でプレーをするメンバーの利点を活かし、過去所属していたチームのユニフォームを展示。世界には様々なユニフォーム、国ごとの個性が出ている展示物にお客様は大変興味を持って御覧いただきました。

⑪ 「さがみん」の参加

相模原市のマスコットキャラクターである「さがみん」を会場に招待し、イベントを盛り上げてもらう為に協力していただきました。特に子供達に大変人気で、募金活動にも積極的に参加してもらい当イベントに多大な貢献をしていただきました。

※球場で販売をしたチャリティーTシャツです。

作成頂いた紫染屋様、選手、来場者皆様のご協力を頂いたことで、合計73枚を売上げることができました。

2017バージョン チャリティーTシャツ



～当日の募金、物品販売実績～

・支援金総合計：278, 495 円

【内訳】

募金総額：51, 010 円

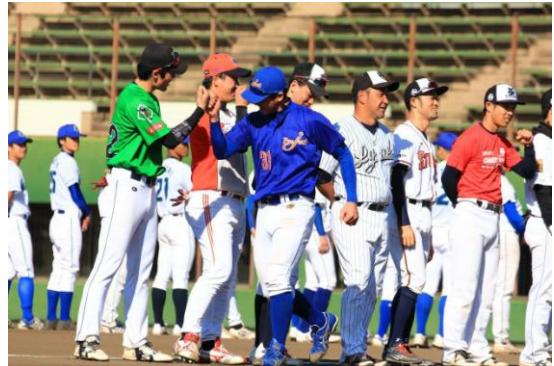
協賛寄付金：81, 485 円（企業団体 2 社・個人協賛 7 名）

チャリティーTシャツ：146, 000 円

現在、大船渡市の担当職員様と打ち合わせを進めており、寄付に関してどの様な形が最良か詰の協議を行っている最中でございます。ここ数年で道具関係に関して供給が大分落ち着いてきている現状から、物より人材によるコーチングに主眼を置くなど、違った形でのアプローチを模索しております。

寄付金は、我々が責任をもって大船渡市へ届けます。

～ チャリティーマッチ当日の様子 ～



ALL NATIONS 代表 三好 貴士 挨拶

試合前風景 ①



DJ 橋本卓也さん

試合前風景 ②



観覧席 (世界のユニフォーム展示)

オールネーションズ ブース



試合風景 ①



試合風景 ②



試合風景 ③



イニング間イベント



野球教室 ①



野球教室 ②



VS

**We Are
[B]
all one**

■ALL NATIONS
国内外のプロ野球経験者、
現役プロ野球選手が集結。

■相模原クラブ
相模原を代表する、
実力派チーム。

試合終了後、小中学生を対象に野球教室を開催!!
プロの野球選手から直接指導を受けられます!

11/19 sun 開場 9:30 試合開始 11:00

サーティーフォー相模原球場 入場料 無料 ※球場内で募金をお願いしています。

第7回 東日本大震災復興支援 2017

チャリティーマッチ ※当日は、試合終了後に野球教室（申込不要・グローブ持参）など参加型のイベントやグッズの販売・展示も行います。

共催 一般社団法人 オールネーションズ TEL 050-5276-2167
公益財団法人 相模原市まち・みどり公社

後援 相模原市教育委員会

<https://www.facebook.com/weareballone>

<https://twitter.com/weareballone>